



週報

Rotary
OITA JOSAI, 2720

会長 衛藤祐介
幹事 中山省悟

国際ロータリー会長
ゴードン R.マッキナリー
第 2720 地区ガバナー
膳所 和彦
大分第 4G ガバナー補佐
吉良 昌一



大分城西ロータリークラブ

クラブ スローガン 「委員会の活性化」

地区スローガン
ロータリーは学び舎であり、また遊び場である
そして今、ロータリーアクションは世界を変える。

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

出席報告	12月13日					11月12日				編集担当
	会員総数	出席者数	出席率	ゲスト	ビンタ	会員総数	出席者数	補欠数	修出席率	
	32名	25名	80.65%	0名	0名	32名	18名	4名	70.97%	

例会日 水曜日 12:30～13:30 事務局 〒870-0021 大分市府内町トキハ会館 4階 Eメール

例会場 ホテル日航大分オアシスタワー TEL 097-532-0611 FAX 097-532-8386 ホームページ

12月 村上智貴
1月 中山省悟
2月 衛藤祐介
oitajosairc@mist.ocn.ne.jp
<http://oitajosairotaryclub.com>

2023-2024		第18回例会	疾病予防と治療月間
12月17日		No.1543	
◆本日のプログラム			
17:30	点鐘		
	ロータリーソング「まわせ歯車」		
	ゲスト・ビジターの紹介	衛藤祐介 会長	
	会長の時間	衛藤祐介 会長	
	出席報告及び幹事報告	中山省悟 幹事	
	ロータリー情報	R 情報担当委員	
	委員会報告	各 委 員 会	
	スマイルボックス	親 瞳 担 当	
17:45	クリスマス家族例会	司会 河野浩二会員	
	開会の挨拶	衛藤祐介会長	
	乾杯	村上智貴 直前会長	
	～ 食事・歓談 ～		
	ゲーム お菓子重さ当てクイズ bingo	お 子 様 全 員	
	サンタ登場 子供達へのプレゼント		
	ロータリーソング「手に手つないで」		
	いやさか	廣瀬舜一会員	
19:50	閉会		

◆今週のお祝い

●創立記念日

佐藤憲幸会員

(株)アクティブコミュニケーションズ
H14年12月20日(21年)

●結婚記念日

伊東真知子会員 S49年12月20日

首藤哲也会員 H25年12月24日

佐藤憲幸会員 H12年1月1日

●会員誕生日

河野浩二会員 12月31日

◆幹事報告

中津 RC 創立 70 周年記念式典・祝賀会のご案内を回覧してます。

元会員の小野日隆様より『あわのさま第 83 号』が届いております。

今後の予定です。

今週末 17 日(日)は 17:30 よりオアシス 21 階 エトワールでクリスマス家族例会となっております。それに伴いまして、来週水曜日 12/20 は例会変更となりましてお休みです。クリスマス家族例会が今年最後の例会ですので、お間違えのないようご確認お願い致します。

年明けは 1/10(水)市内 9RC 新春合同例会です。会場はトキハ会館 5 階 ローズの間でお時間は 12:00～14:05 の予定です。

今年は、今のところメイン会場のみの予定ですので、感染症等気になる方は Zoom 参加も可能ですので、Zoom 参加ご希望の方は、15 日(金)までに事務局に連絡してください。

お席のご準備の関係がありますので、期限厳守でお願

い致します。

◆ゲスト・ビジターの紹介(12月13日)

●ゲスト	なし
●ビジター	なし

◆今後の例会予定

● 1月10日	新春合同例会 12:00~14:05 予定 トキハ会館 5F ローズの間
● 1月17日	年男の卓話(河野会員)
● 1月24日	地区補助金プロジェクトについて
● 1月31日	親睦夜例会
● 2月7日	川崎 純平様(学校法人別府大学明豊高等学校野球部監督)
●職業奉仕 3分スピーチ	
本日はありません。 (1/24)伊東会員 (2/7)山本会員	

◇スマイルボックス

武居光雄 会員 1口

先週、誕生日でした。皆様の身体と心が健康でありますように。

会長の時間(12月13日) 会長 衛藤 祐介

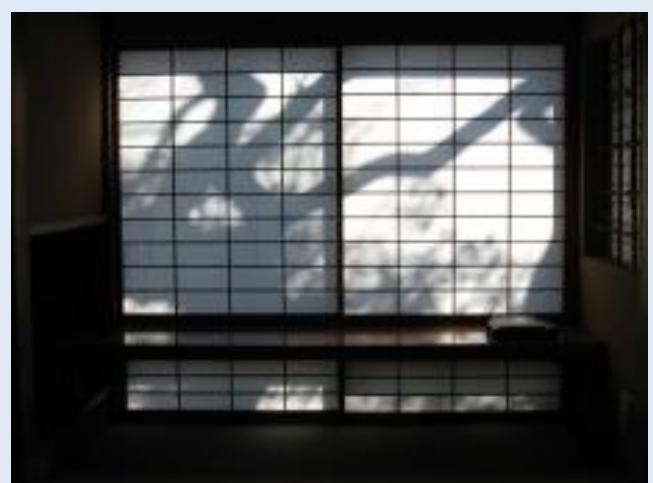
大学で建築を学ぶ学生に一度は勧められるのが谷崎潤一郎の「陰翳礼讃」です。

谷崎潤一郎といえば『痴人の愛』『春琴抄』『細雪』などが思いつくと思います。

関東大震災をきっかけに、東京から関西に移住した谷崎潤一郎は、それ以降もずっとその地方で暮すことになりました。震災直後に住んでいた借家は洋風建築の家でしたが、1928年(昭和3年)頃に、神戸市東灘区に和洋中が混ざった新居を建築します。

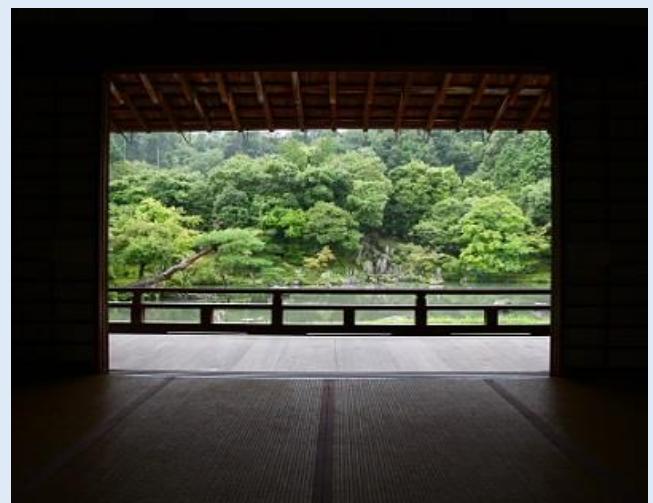
いつの頃からか、日本の住宅は蛍光灯で白々と照らされた、陰影のない明るすぎる住宅になってしましました。そして今、再び照明のあり方が見直されています。

今日紹介する『陰翳礼讃』(いんえいらいさん)は、まだ電灯がなかった時代の今日と違った日本の美の感覚、生活と自然とが一体化し、真に風雅の骨髄を知っていた日本人の芸術的な感性について論じた、関西に移住した谷崎が日本の古典回帰に目覚めた時期の随筆です。



ほの明るい部屋に差し込むのは、障子越しの光。その障子には、時折揺れ動く木の影が映り、このとき障子は、一幅の上質な水墨画に変わるので。揺れているのは、ナンテンでしょうか。枝先に葉のひとかたまりはモチノキのよう。枯れ枝だけのは、ウメの影に違いありません。色もなにも、実際の姿は見えないので見えてくる、もしかしたら本物の木よりも豊かな表情を見せる、木々そのものの姿とはひと味違った、木の影の作る美しさ。その美しさも、木々を愛でることで得られる楽しみのひとつと言ってよいでしょう。その楽しみは、陽の光と家の暗さ、そして障子戸があつて初めてできるもの。このときほど、日本の家が、木と土と紙でできた、薄暗いつくりのものでよかったと思うことはありません。

「美は物体にあるのではなく、物体と物体との作り出す陰翳(いんえい)のあや、明暗にある」とは、この隨筆『陰翳礼讃』のなかの一節ですが、木と土と紙でできた家、そして庭の木々と陽の光によって作り出される陰翳は、そんな薄暗い日本の家でなくては味わえない、日本の美のひとつなのです。



障子紙は光が当たるとそれ自体が白く光り、柔らかくした光を部屋の奥深くへ届けます。ガラスには出来ない芸当です。

トイレや浴室に関しても、元々の日本の木造の風呂場や廁では、けばけばしい真っ白なタイルは合う筈もありません。日本人の祖先は、すべてのものを詩化し、不潔である場所も却って風流で雅至のある場所に変貌させ、花鳥風月の懐かしみの連想へ誘い込むようにしていました。

西洋では順当な科学文明の発達で今日に到達しましたが、日本ではそうではありません。「もし日本独自の科学文明が発達していたら、もっと国民性に合致した物が生まれていたかもしれない。仮に万年筆を東洋人が考案すれば穂先は毛筆になっていたかもしれない。」と谷崎は綴ります。

西洋では食器でも宝石でもピカピカに研いだものが好まれ、東洋人は、銀器が時代を経て黒く錆び馴染む趣を好み、自然に手の油で器に味わいが出るのを「手沢」^{しゆたく}「なれ」と呼んで、その自然を美化して風流とするが、西洋人は手垢を汚いものとして根こそぎ発き立て取り除こうとする。「私」は、日本人が既に失いつつある「陰翳の世界」を文学の領域に少しでも呼び返してみたい。と締めています。

卓話の時間

【クラブ協議会】

『上期の反省と下期の取り組み』

S A A	眞上 晋
クラブ運営	寺崎 直史
親睦	河野 浩二
プログラム	石橋 春明
ロータリー情報	寺崎 直史
公共イメージ向上	高木 昭信
T	高木 昭信
クラブ会報・雑誌	眞上 晋
会員増強	吉岡 尚美
職業奉仕	山本 真一
社会奉仕	佐藤 憲幸
社会奉仕	伊藤 秀海 (佐藤憲幸 委員長 代読)
青少年	佐藤 憲幸
環境保全	奈須 敬司
国際奉仕	中村 智美
国際奉仕	中山 省悟
ロータリー財団	伊東 真知子
米山奨学会	中村 智美

以上の各担当者より、それぞれの活動報告を発表して頂きました。